

# 千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート～筑波山を思うみんなの手でつくる美しい「まち」「さと」「みち」～

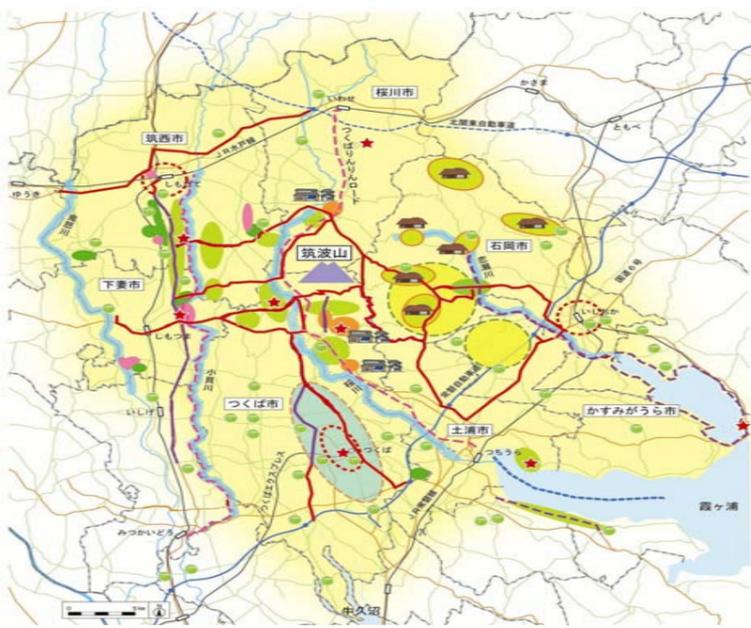
## ■地域のねらい

目的 「筑波山及び周辺地域における良好な景観を守り、育てる」ことを共通の理念とし、地域住民等が主体となり相互に連携、協働しながら地域資源を活用した美しいまちづくり、みちづくり活動継続的に実践することにより地域活性化に寄与する。

方針 ・筑波山の美しい景観、自然環境の保全  
 ・筑波山周辺の豊かな地域資源の魅力を深める  
 ・個々の活動団体の活動を深め、連携や協働によるネットワークづくりを進める

## ■活動エリアと地域資源

活動エリアは筑波山を核とした周辺7市（つくば市、筑西市、桜川市、下妻市、石岡市、土浦市、かすみがうら市）とする。



★ 代表的なベストビューポイント  
 代表的なベストビュールート

### <代表的地域資源>



筑波山  
 「西の富士、東の筑波」と呼ばれる本県のシンボルです。  
 標高 877m



小貝川ふれあい公園  
 園内にある「オオムラサキの森」は国蝶オオムラサキの貴重な生息地になっています。



真壁のまちなみ  
 約 400 年前の街割がそのまま受け継がれ、数多くの歴史的建造物が残されています。



霞ヶ浦  
 日本第 2 位の湖面積をもつ淡水湖です。  
 湖面積約 220km<sup>2</sup>



つくば道  
 つくば道は歴史を語る道として「日本の道百選」に選ばれています。

## ■地域の活動内容と実施者

### <主な活動内容>

39もの団体が各地域で多種多様な活動を展開

- ◇地域観光振興活動
  - ・地域で行われるイベントや祭り、観光 PR 活動を展開。（まつりつくば、真壁のひなまつり、観光帆船等々）
  - ・21団体が各地域で活動
- ◇環境美化、保全活動
  - ・道路のゴミ拾いや、除草・植樹、自然観察会、道路への愛称付与等、様々な活動を各地域で展開。
  - ・20団体が各地域で活動
- ◇文化財等の保全活動
  - ・歴史遺産の保全・活用、歴史的建造物の活用、茅葺屋根民家の保存等地域の歴史、文化を守り伝える活動を展開
  - ・5団体が各地域で活動
- ◇その他
  - ・地域の人材育成や、地域の問題評議、地域農業の振興などの活動を展開



## ■地域の活動推進体制

「筑波山美しいまち・みちづくりパートナーシップ代表者会議」

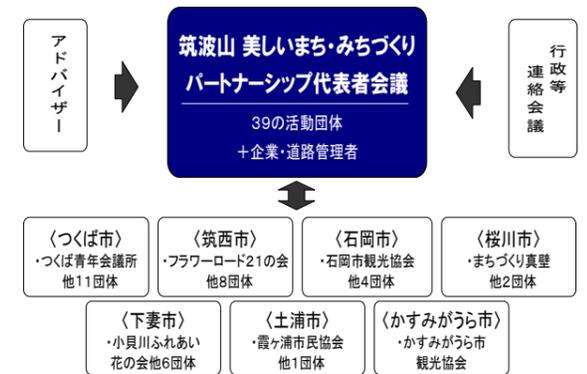
- ・地域で活動する39団体及び道路管理者 地元企業より構成し、風景街道目的達成のための様々な活動を展開
- ・分科会を設け、多様な活動に対応

### 行政等連絡会議

- ・茨城県、国、周辺7市、NTT、東電より構成。パートナーシップの活動を支援

### アドバイザー

- ・筑波山ベストビューコンテスト実行委員会のメンバーにより構成。パートナーシップの活動企画などについてアドバイスを行う。



## ■平成18年度の主な活動

○ロゴマークの決定 一般公募163通の中から選定



○ホームページの立ち上げ

地域活動団体の紹介等  
 アドレス: <http://www.scenicbyway-ibaraki.jp/>



○案内看板作成

活動エリア内の地域資源と筑波山ベストビューポイント・ルートを標記

